

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年3月30日	記入者		連絡先	042-684-3211
平成18年度部名	教育総務部	課名	相模湖教育課	課長名	深澤和則
平成19年度部名	福祉部	課名	相模湖福祉課	課長名	井上 明
事務事業名	青少年指導員活動推進費				
予算上の事務事業名	青少年指導員活動推進費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		14210		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第2節 青少年の健全育成				
施策名	第1施策 青少年活動の促進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市青少年指導員に関する規則、神奈川県青少年指導員要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	サービス提供	▼	5 事業開始年度	平成18年度	▼
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何)				
市が委嘱している青少年指導員の研修やその活動を促進することにより、地域社会における青少年活動を推進する。			青少年指導員		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
薬物乱用防止研修会への参加 愛のパトロールの実施(相模湖地区内) 有害図書実態調査の実施(相模湖地区内) 青少年指導員各種研修会等への費用弁償の支払					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	他市でも同様の事業を実施 青少年課「青少年指導員活動推進事業」と同様の事業				
8 事業費の推移	[単位:千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	474	420	420
一般財源			71	17	17
受益者負担金			0	0	0
その他の特定財源			0	0	0
人件費の合計			98	98	98
事業コスト合計	0	0	572	518	518
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	青少年指導員活動推進事業			対象名称 と単位	青少年指導員定数
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)			474	420	420
対象数			15	15	15
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	31,600	28,000	28,000
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.89	1.00

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	研修会等延べ参加者数	指標式と指標の説明	目標は、青少年指導員数（定数）×3回の70%の参加者数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績			41.0		
目標			31.0	31.0	31.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	132.3		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	薬物乱用防止研修会参加割合	指標式と指標の説明	参加者数/対象者数 目標は、80%		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績			100.0		
目標			80.0	80.0	80.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	125.0		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
〔 〕：良好な状態を維持する事業					
〔 〕：概ね良好な状況である事業					
〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		相模湖地域において、様々な青少年関係団体等と連携しながら、青少年健全育成活動が推進されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
青少年の健全育成をより推進するため、青少年関係機関や団体との連携を深めるとともに、青少年指導員が参画する事業等の機会を拡充する。又、平成19年度から公民館協議会委員として公民館事業にも参画し、幅広い活動を展開していく。			合併後、新市の青少年指導員活動の活動内容、特に市青少年指導員連絡協議会における活動等に積極的な参加が望まれる。又、市連協が定例化されているのでそれに連動する形で、地区連協としても月例化を図って市連協にならった組織づくりに努めた。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			